

# 平成28年度

## 第32回 鹿児島県児童生徒作曲コンクール



公益財団法人 鹿児島県文化振興財団

### 【開催要項】

1. **主 催** 特定非営利活動法人 鹿児島作曲協会
2. **後 援** 鹿児島県・鹿児島県教育委員会・鹿児島県音楽教育連盟・南日本新聞社・NHK鹿児島放送局・MBC南日本放送
3. **対 象** 鹿児島県下の小・中・高等学校及び特別支援学校等に在籍する児童・生徒
4. **審 査** 主催者の委嘱した審査員による審査
5. **表彰及び受賞作品演奏**  
入賞及び入選者は、下記授賞式において表彰し、受賞作品演奏会で上位数曲を演奏する。  
その際、作曲協会において発表用に編曲することがある。  
器楽作品については、演奏者を作曲者自身が準備すること。（自演も可）

### 【参加規程】

1. **部門及び課題** 声楽作品部門・第一器楽作品部門・第二器楽作品部門の3部門とし、器楽作品部門については次に示す通りである。
  - ・第一器楽作品部門…単旋律のみ（例：リコーダー独奏，トランペット独奏 など）
  - ・第二器楽作品部門…単旋律以外（例：ピアノ独奏，リコーダーアンサンブル など）※器楽作品（第一器楽・第二器楽）の課題については、別記の動機によること。  
※声楽作品・第一器楽作品・第二器楽作品のうち、2部門または3部門に参加してもよいが、1人1部門につき1曲とする。（合作は認めない）
2. **注 意 事 項**
  - (1) 楽譜は、任意の五線紙を使用する。ただし、用紙のサイズはA4にそろえる。
  - (2) 楽譜は、黒のペン書きまたはコピー（黒）とする。パソコンによる浄書をプリントアウトしたものでもよい。
  - (3) 表紙（申込書）には、次のことを必ず明記すること。  
曲名・使用楽器（器楽作品の場合）・学校名・学年・組・氏名（氏名にはふりがなを必ずつける）・本人の住所・電話番号・演奏時間（器楽作品の場合）  
※上記の個人情報については、鹿児島県児童生徒作曲コンクール以外の目的で使用することはありません。
  - (4) 申込書と楽譜は、必ずホッチキスで止めること。
  - (5) 声楽作品の詩は、原則として全部を用いることとする。（部分的なことばの反復や合唱・重唱の場合のパートによる部分的な省略は差しつかえない。）
  - (6) 声楽作品の楽譜には、必ず2番以降の歌詞も書き入れること。  
※歌詞が書ききれない場合は、五線の上に書いても構いません。
  - (7) 器楽作品の動機は、楽器等の事情により移調して用いてもよい。
  - (8) 自作の作品であること。
3. **作品提出先** 〒899-5222 鹿児島県姶良市加治木町錦江町24番地 伊地知方  
鹿児島作曲協会事務局 TEL 090-7532-8183
4. **作品受付期間** 平成28年6月20日（月）～8月28日（日） ※当日消印有効
5. **審査結果発表** 平成28年9月下旬
6. **表彰・演奏会** 平成28年11月3日（木・祝） 講評講師：作曲家 安川 徹氏（予定）  
鹿児島市勤労者交流センター 多目的ホール（よかセンター）

# 小 学 校 課 題

【声楽作品の部】 次のA, B, Cの詩の中から1つを選び、その詩にふさわしい旋律をつくりなさい。

A 聞く<sup>き</sup>ことも また見る<sup>み</sup>ことも 心<sup>こころ</sup>がら  
みなまよいなり みなさとりなり

<島津日新公いろは歌>

訳

《心のもちかた次第で、耳で聞こえるもの  
や目で見えるものが、場合によっては、迷  
いになるし、場合によってはさとりにもな  
る》

B ぬす<sup>ひと</sup>人は よそより入<sup>い</sup>ると 思<sup>う</sup>ふかや  
耳目<sup>みみめ</sup>の門<sup>かど</sup>に 戸<sup>かど</sup>ざしよくせよ

<島津日新公いろは歌>

訳

《どろぼうは、外から家のなかに入ってく  
ると考えやすいが、ほんとうのどろぼう  
は、自分の耳や目から入ってきて心をぬす  
むので、耳目心のとじまりをしっかりとしな  
さい》

C. 桜島

<伊藤 九州男>

1. ぼくはつしたぞ 桜島

もくもく昇る 噴煙<sup>ふんえん</sup>だ

どこから出るの あの力

みんな見上げて びっくりだ

2. おこっているぞ 桜島

どこまで行くの 噴煙<sup>ふんえん</sup>だ

地球の おほか 空になる

生きてる山を 守ろうよ

## 【器楽作品の部】

右のA・Bの動機のうち、1つ  
を選び、楽器のための旋律または  
器楽曲をつくりなさい。

- ・ 演奏時間は5分以内。
- ・ 楽器名を明記すること。



# 中 学 校 課 題

【声楽作品の部】 次のA, B, Cの詩の中から1つを選び、その詩にふさわしい旋律をつくりなさい。

A 礼するは 人にするかは 人をまた  
さぐるは人を さぐるものかは

<島津日新公いろは歌>

訳

《他人に対して礼節を尽くすのは他人に対してしているのだろうか、また他人を下げる（いやしめる）のは他人に対してしているのだろうか。いや自分に対してである。礼節 を尽くす正しい行いは自分自身を高め、他人を卑しめる行いは自分をも卑しめる》

B 少しきを 足れりとも知れ 満ちぬれば  
月もほどなき 十六夜の空

<島津日新公いろは歌>

訳

《多少少なくとも満足することを覚えなさい、満月も明日には少し欠けた十六夜の月になるではないか。幸福感は心の持ち方で大きく変わるものである》

C 城山逍遙の歌

<島本 青玄>

1. 冬風寒く 城山に

記憶を胸に 辿るなら

雪降る朝の 出陣と

夏草茂る 終焉は

語り継がれて 明日となる

闘い済んで 夜となり

再び朝が 来るならば

忘れるなかれ とこしえに

## 【器楽作品の部】

右のA・Bの動機のうち1つを選び、楽器のための旋律または器楽曲をつくりなさい。

- ・ 演奏時間は5分以内。
- ・ 楽器名を明記すること。



# 高等学校課題

【声楽作品の部】 次のA, B, Cの詩の中から1つを選び、その詩にふさわしい旋律をつくりなさい。

A やはらぐと 怒るをいはば 弓と筆  
鳥にふたつの つばさとを知れ

<島津日新公いろは歌>

訳

《やわらぐ（優しさ）と怒る（厳しさ）とは例えて言えば弓（武）と筆（文）であり鳥の両翼のようなものである。バランスをたもつことが重要である》

B 道にただ 身をば捨てむと思ひとれ  
かならず天の 助けあるべし

<島津日新公いろは歌>

訳

《人の道を全うするためにわが身をなげうつ覚悟で事に当たりなさい、そうすれば必ず天の助けがある 正しい道を歩むときどんな困難も解決される》

C 月空を いぶす煙のさくらじま  
維新の夜の 夢もかくや

<東 光恵>

島津日新公いろは歌

（薩摩いろは歌）：

薩摩の戦国武将日新公（=島津忠良1492～1568）による47首の短歌は、郷中教育（薩摩藩伝統の縦割り教育）の基本精神を説いたものであり、西郷隆盛・大久保利通など鹿児島県の歴史を牽引していった人物もこの教えの影響を強く受けた。

## 【器楽作品の部】

右のA・Bの動機のうち1つを選び、楽器のための旋律または器楽曲をつくりなさい。

- ・ 演奏時間は5分以内。
- ・ 楽器名を明記すること。

